



パイプロサイス発震

VP.1122
テストを兼ねた観測を行った。



測線概況（北端）

市原ダイナマイト発破点
より、独立型受振器を配
置した付近を望む。



観測車

Loc.1004付近

反射法の観測区間の移動
に伴い、観測車の位置は
変更した。



パイプロサイス発震作業

VP.800付近
この付近でのみ4台発震
を行った。



ミニパイプ発震作業

VP.677
道路が狭いため、ミニバ
イプによる発震とした。



受振器設置状況

VP.626



パイプロサイス屈折発震
木更津発振点(V1)
夜間4台の発震作業



受振器設置状況
Loc.920
植込みを利用して受振器
を設置。



国道16号線脇での発震
VP.536



木更津市内での発震

周囲への振動・騒音を考慮して、1台による発震



国道16号線での発震

木更津から富津に向かう16号線上は、近隣に民家がなく、交通量も少ないため、十分なエネルギーの発震ができた。



パイプロサイス積み出し

資材置き場にて